

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

いじめを解決するためには

校長 竹花 和人

※9月8日（火）全校朝会での講話より

これまでは始業式・終業式や全校朝会の話では、校訓である「立志」に関わる話をしてきました。しかし、今回は「立志」とはあまり関係のない話をします。それは、「いじめ」についての話です。今年の7月5日に、岩手県矢巾町というところの中学校2年生が「いじめ」が原因と思われる自殺をしたというニュースは、皆さんも知っていると思います。このような事件は、これまでも何度も起こっています。そのたびに、「いじめ」をなくそうとして様々な取組がされてきていました。しかし、残念ながら「いじめ」をゼロにすることはできませんでした。何人もの若い命が「いじめ」のために奪われてきました。先週の防犯弁論大会で、3年生の石村康大くんが「いじめ、ありません」ということを発表してきたとおり、わが島守中学校では4月からこれまで、小さなトラブルはあったかもしれませんが「いじめ」があったという報告は全くありません。おそらく、これからはないと思っています。しかし、皆さんが島守中学校を卒業して、高等学校や大学、専門学校などに進んだとき、または就職したときに、そこで「いじめ」を体験することが考えられます。ですから、中学生の時期に「いじめ」について考えることは、とても大切なことです。

「いじめ」についてまず確認したいのは、「いじめ」には「被害者」「加害者」「傍観者」がいるということです。「いじめ」をなくすためにそれぞれの立場で取り組むべきことがあるのですが、今日は島守中学校の生徒が将来「いじめ」の問題に関わる場合、最も可能性が高い「いじめ」の「被害者」は解決のためにどうすればいいかについて考えてみたいと思います。

みなさんは、いじめられたらどうしますか？どうすれば解決すると思いますか？実は、解決するための一番いい方法は、「先生方に相談すること」です。もちろん、親や友達でもいいのですが、早期に解決したいのであれば、「先生方に相談すること」が一番です。こう聞いて、「岩手県矢巾町の場合は、先生に相談していても解決しなかった」と思った人もいるでしょう。私は、先ほど「先生方に相談する」といいました。これは、一人の先生に相談するというのではなく、複数の先生に相談するということです。そして、相談する場合、学級担任や学年主任には相談しにくいこともありますので、部活動の顧問の先生や委員会の先生、保健室の先生やスクールカウンセラー、場合によっては教頭や校長に直接相談することも考えてみてほしいと思います。そうすると、学校としては一人の先生だけが解決のために動くのではなく、全校の先生方が「いじめ」をなくすために動くこととなります。少なくとも島守中学校では、そのような相談があった場合、校長の責任のもとで、すべての先生方で解決のために取り組むことにしています。さらに、学校の先生には相談しにくい場合は、教育委員会などで設置している相談機関に相談することもいいと思います。また、命にかかわるような暴力行為や、金銭を強要されるなど明らかな犯罪行為が行われている場合は、学校を越えて「警察」に訴えることも考える必要があります。そして、これは中学校の「いじめ」問題だけでなく、高校や大学、社会に出て働いている職場などでの「いじめ」でも全く同じです。「いじめ」でつらいときには、一人で抱え込まず、必ず誰かに相談してください。自分一人で悩まずに相談する勇気をもってください。今回は「被害者」の立場での解決方法でしたが、「傍観者」の立場での解決方法なども、機会を見て考えていきたいと思っています。

さわやか八戸グッジョブウィーク

9月1日(火)から4日(金)までの4日間、2年生は「さわやか八戸グッジョブウィーク」を行いました。これは、八戸市教育委員会が平成12年度より開始した事業で、島守中学校は平成21年度より実施しているようです。

生徒たちは、学校とは全く異なる環境で多くの大人に囲まれて活動していることもあり、初めは非常に緊張しているようでした。しかし、仕事に慣れてくると徐々に笑顔が見られるようになり、4日目には自信をもって活動できていたようです。各事業所の方々からも「真面目に働いています」「集中して働いています」などのお褒めの言葉をいただきました。

保護者や御協力いただいた各事業所の皆様方には、4日間とてもお世話になりました。心より感謝いたします。今後は、この体験を通して「働くことや学ぶことの目的や意義」などを考えさせていきたいと思っております。



全国学力・学習状況調査の結果

4月21日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、8月26日に届きました。本校の成績ですが、国語A・数学A・数学B・理科は全国平均を上回っており、おおむね良好といえます。しかし、国語Bは全国平均を若干下回っていました。特に、自分の考えを文章で表現する問題の正答率が低くなっております。

今後は、各教科の授業で「自分の考えを分かりやすく伝えること」を工夫するよう指導していくとともに、今年度の学校目標「聞いたことをもとに考え、表現できる生徒の育成」に向けた取組を一層充実させることで、課題を解決するよう取り組んでいきます。なお、この調査を受けた3年生には、今週中に個人の成績表を配付する予定です。保護者の皆様も成績表を御覧いただき励ましていただければ幸いです。

弁論大会で堂々と発表

9月3日(木)に八戸地区少年防犯弁論大会が、4日(金)に八戸市中学校英語弁論大会が行われました。どちらも練習成果を発揮して、堂々と発表できたということです。特に防犯弁論大会は、第二中の生徒を前に発表したため、とても緊張したと思いますが、練習の成果を発揮できたようです。残念ながら上位入賞はできなかったものの、代表生徒にとってはいい経験になったと思います。

- 防犯弁論大会 3年A組 石村康大
「いじめ、ありません」
- 英語弁論大会
暗唱の部 3年A組 山口茜
「The Letter」
創作の部 3年A組 村上さくら
「Serious minds have a power to move people」